

2016年4月6日(水)

協和エクシオ、山口県平生町のメガソーラー発電施設が完成

～中国地方で2カ所目、山口県では初の出力約 1,250 キロワットの太陽光発電施設～

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）では、環境事業の一環として、太陽光発電システムの設計から施工、運用システムの構築に至るまでの設備設置工事、さらには再生可能エネルギーの固定価格買取制度による売電を実施する発電事業を展開しておりますが、このたび、当社の施設としては中国地方で2カ所目、山口県では初となる出力約 1,250kW のメガソーラー発電施設「エクシオ平生ソーラーファーム」が完成し、4月5日、山田健一：平生町長をはじめ地権者などの来賓、工事関係者ならびに当社関係者など約30名が出席し、現地で開所式を執り行いました。

完成した「エクシオ平生ソーラーファーム」は、当社が山口県熊毛郡平生町内に賃借した約1万7,500平方メートルの敷地内に約4,700枚の太陽電池モジュールを設置し、完成後は出力約1,250kW、年間発電量で一般家庭の約300世帯に相当するメガソーラーによる発電事業を実施します。

同施設は敷地が町道と建物を挟んで2つに分かれているため、パワーコンディショナを設置していない方の敷地からの配線に関しては、町道の一部賃借し、埋設配管・配線で対応しています。また、施設は湾に近い位置にあるため、塩害対策を施した架台およびコンクリート基礎を採用するとともに、湾からの風の影響を考慮し、架台の高さを極力抑えた設計を採用しています。

当社は環境事業の一環として、メガソーラーをはじめとする太陽光発電設備の設計・施工を手掛けるとともに、発電事業にも注力しています。発電事業に関しては、2012年11月の当社「府中総合技術センタ」（東京都府中市）での稼働開始を皮切りに、現在はメガソーラー発電施設7カ所を含む全国11カ所で稼働しており、「エクシオ平生ソーラーファーム」は全国で12カ所目、メガソーラー発電施設では8カ所目の施設となり、中国地方においては島根県松江市の「エクシオ松江ソーラーファーム」に続く2カ所目のメガソーラー発電施設となります。

当社では、今後もメガソーラーをはじめとする発電事業を強化していくとともに、太陽光発電システムの設備設置工事に関しても、今回の施工実績も踏まえ、提案を強化していく方針です。

「エクシオ平生ソーラーファーム」の施設概要は以下の通りです。

＜「エクシオ平生ソーラーファーム」施設概要＞

施設名称：エクシオ平生ソーラーファーム
所在地：山口県熊毛郡平生町大字曾根422番7 他2筆
施設規模：

- 設置用地面積 17,488 m²
- 太陽光発電設備
 - 太陽光パネル出力 1,246.56 kW
 - 太陽光パネル枚数 4,704 枚（単結晶型）
 - 年間発電量（見込み） 約 1,620,000 kWh/年

発電事業者：株式会社協和エクシオ
工事期間：自 2015年9月29日～ 至 2016年3月31日
運用期間：自 2016年3月～ 至 2036年11月
売電開始日：2016年3月29日
設計・施工：株式会社協和エクシオ
五洋建設株式会社



写真は、開所式の様子

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20 総務部 CSR・広報室

電話：03 - 5778 - 1075 (直) FAX：03-5778-1228

担当：望月 政広